

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	妊婦等保健相談事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3,11	
事業（細目）名	妊婦等保健相談事業の推進	事業番号	1104			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	2	連番	103

R3年度

Goal(目標)	妊娠前から出産、子育て期まで、安心して相談できる体制、環境づくりを構築する。
Plan(事業概要・計画)	<p>智頭町で妊婦が妊娠前から安心して過ごすことができ、出産後も穏やかに過ごすことができるように子育て支援策を充実させる。</p> <p>・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診、産婦健診、歯科健診の費用助成 ・家庭訪問、面談、電話相談の随時実施 ・不妊治療費の助成</p> <p>・産後ケア事業、産前・産後サポート事業の実施 ・助産院いのちねへの委託（産前・産後整体事業、産前・産後子育て相談事業）</p>

R3年度

Do(実行)	R3実績額	4,802,963円				
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	産前・産後サポート事業	件(延)	0	3	2	-
②	産後ケア事業	件(延)	11	20	17	155%
③	産前・産後整体事業	件(延)	39	45	26	67%
④	産前・産後子育て相談事業(R3新規)	件(延)	/	6	4	-
⑤	妊産婦家庭訪問・面談・電話相談	件(延)	14	15	15	107%
実施内容						
<p>・フォローが必要なケースがあった場合は、妊産婦家庭訪問、面談、電話相談を実施。</p> <p>・妊婦一般健康診査、産後健康診査の結果を把握し、必要な場合は電話等で状況を確認した。</p> <p>・妊婦健康診査の費用助成をする(1人あたり14回+クラミジア検査、多胎妊娠は+5回助成)。・妊婦歯科健康診査の費用助成をする。</p> <p>・産後健康診査の費用助成をする(1人あたり2回助成)。・不妊治療費を助成する。延16件申請。</p> <p>・産前・産後サポート事業、産後ケア事業、産前・産後整体事業、産前・産後子育て相談事業の実施した。</p>						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<p>・妊産婦・産科医療機関ともに産後ケア事業の認知度が上がっており、利用希望者が増えている。また、産後ケア事業の利用相談を兼ねて、産科医療機関から町へのケースに関する情報提供も増加しており、妊産婦支援が以前よりきめ細やかに行っている。</p> <p>・妊娠件数は減っているが、未婚、子育て経験の不足、家族関係の問題等により、フォローの必要な妊産婦は増えている。</p> <p>・すべての妊産婦が利用できる相談事業として産前・産後子育て相談事業を令和3年度より開始したが、需要が少なかった。</p> <p>・委託先の事情により、産前・産後整体事業の利用者が伸びなかった。</p>						

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：個別対応を行い、必要とする産後ケア事業等にきちんとつないでいる。				

R4年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>・関係機関と連携し、フォローが必要な妊産婦への家庭訪問、面談等を継続。</p> <p>・助産院いのちねに委託し、妊産婦の健康づくり、妊娠や出産、子育てについての不安軽減を支援するための各種事業を行う。</p> <p>・特定不妊治療費助成については、令和4年4月1日以降に治療を開始した者に対し、先進医療や自費診療に要した費用を一部助成する。人工授精への助成は中止(令和4年3月31日以前に開始した治療に対する助成は経過措置として実施)。</p> <p>・子どもを望む住民への支援の一環として、不育症検査・治療についての助成事業を新規実施。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	出合いの場「恋活」	所属	企画課	SDG s	5
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	3	連番

R3年度

Goal(目標)	豊かな自然の中で出合いの場として「恋活」を企画し、本町が思い出となりふるさととなることで移住者の増加を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・東部4町で婚活イベントの開催 ・智頭町婚活支援事業補助金の交付 ・町内企業や地区振興協議会にも広報し、若手の参加を募る。 ・イベントを実施するにあたっては、町のPRに繋がるような内容とする。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					312,400円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	東部4町婚活イベントの開催	回	2	1	0	0%
②	婚活イベントの参加者数	人	39	20	0	0%
③	智頭町婚活支援事業補助金の交付	円	0	2	0	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東部4町合同婚活事業を1回開催予定（2月13日）だったがコロナ感染拡大により中止。 ・町内企業、地区振興協議会への補助金の紹介を行った。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町婚活支援事業補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響のため利用が無かった。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： コロナ禍での影響もあるが、効果を検証するなどの見直しが必要				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画				
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町内業者や地区振興協議会へ補助金のPRを行う。 ・東部4町については結婚に繋がっている実績が無く、4町で開催する意義について協議を行い、廃止。 ・麒麟のまちでの婚活事業が活発化しているため、積極的に協議・活動へ参加する。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き家バンクの充実	所属	企画課	SDG s	11	
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	4	連番	105

R3年度

Goal(目標)	地域団体及び地域住民と連携し、空き家バンク制度を運営。移住希望者へ空き家のスムーズな紹介、及び空き家活用を推進し、廃屋となる物件増加に歯止めをかける。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の空き家を発掘し、空き家バンクへの登録を促す。 ・ 空き家バンクの状況調査を行い、利用促進に繋げるため情報を整理する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					0
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	新規空き家登録数	件	14	15	17	121%
②	空き家バンク成約数	件	22	20	21	95%
③	空き家バンク物件調査	件	5	10	0	0%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家バンクの運営 ・ 空き家所有者へ空き家バンク制度資料の送付 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産税送付の際に空き家バンク情報を掲載したことで新規登録が増加した。 ・ 平成29年度に実施した空き家調査から4年が経過し、空き家の状況が変化しているため再調査が必要である。 ・ 未活用の登録物件があるため制度改革等の検討が必要。 				

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： 空き家活用においては専門性も必要なことから根本的な見直しを検討すること。空き家調査は前回実施したものをローリングしていくこと。					

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家調査のローリング調査を行い、町内の空き家発掘を行う。 ・ 空き家相談会、資料送付（固定資産税通知に同封）を行いながら空き家バンクへの登録を促す。 ・ 空き家バンク情報をHPに掲載し、活用の促進を図る。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	移住定住事業の積極的な推進	所属	企画課	SDGs	11
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	5	連番

R3年度

Goal(目標)	移住希望者の受け入れ体制の強化及び定住促進の推進を図ることにより、緩やかな人口減少となるよう施策を講じる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住イベント（オンライン含）に参加し、移住希望者の確保に繋げる。 ・「SMOUT」を駆使し智頭町の情報発信を行い移住希望者の増加に繋げる。 ・移住相談の実施（オンライン含）

R3年度

Do(実行)	R2実績額		44,417,635円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	移住者数	人	26	20	27	104%
②	問い合わせ件数	人	75	75	59	79%
③	移住イベントの開催・参加（オンライン含）	件	3	5	4	133%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・各種補助金の交付 ・移住イベントへの参加（オンライン含） ・SMOUTでの情報発信 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談だけでなく内覧もオンラインで行うことで相談者のニーズに沿った移住相談が行えている。 ・移住だけでなく定住の促進を図る必要がある。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 国勢調査の速報値が想定よりも少なかった。定住や移住促進を強化していくとが必要。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・移住する際の住居が確保できるよう空き家バンクの充実を図る。 ・各種補助制度を分かりやすく発信し、活用を広げていただく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特別支援学校通学児童生徒の支援と保護者の負担の軽減	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	事務局費	事業番号	1183		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	7	連番

R3年度

Goal(目標)	県立特別支援学校に通学する児童生徒と保護者の負担軽減し、学びを保障するため、福祉有償運送事業者に通学に係る業務を委託するとともに、通学に係る経費を支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の通学支援事業を活用し、県立特別支援学校に通学する児童生徒、保護者を支援する。

R3年度

Do(実行)	R3 実績額	2,479,000円				
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	通学支援委託による登下校支援	回	0	630	450	-
②						
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町シルバー人材センターに特別支援学校への通学支援事業を委託。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・県立特別支援学校までの通学距離が長く、入学年度には通学支援を要する児童生徒が増える傾向にある。 				

R3年度

R3年度	B
------	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由：子どもの障がいや特性に応じた支援と学習機会を保障している。

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭のニーズに寄り添い、子どもの学習保障を行う上では必要な措置である。 ・子どもの育ちと将来的な自立を見据え、きめ細やかな通学支援を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	豊かな子育て支援の推進	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	子育て推進事務	事業番号	1784		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	8	連番

R3年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	・育児・教育にかかる費用を補助し、子育てがしやすい暮らしをサポートする。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	15,800,000円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	対象者に子育て給付金制度の活用を周知	戸	23	25	13	57%
②	智頭農林高校と連携した補助金交付	人	1	1	1	100%
③	対象家庭(高校生)に補助制度を周知	戸	74	85	63	85%
実施内容	(1)補助金制度を対象者に周知し活用を進めることで、制度の趣旨に沿った効果を拡大させる。 (2)福祉課と連携して保護者ニーズを把握し、子育ての困り感の解消に向けた対策を検討する。					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	(1)子育て給付金 就労(保育園入所)より在宅育児を選ぶためのインセンティブとして月額30千円は少額だが勤務先で育児休業手当の支給がない保護者にとって経済的な救済効果は大きい。 (2)高校生通学費補助 居住地によって異なる通学費用が是正され、公平性が保たれている。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 育児・教育経費の負担軽減が、充実した家庭教育に繋がっている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	在宅育児給付金も高校生通学費補助も、活用を増やすことが目的ではなく、補助が必要な方に活用していただけるよう、対象者への周知を継続する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ファミリーサポートセンター推進事業	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	ファミリーサポート事業の推進	事業番号	1788		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作る町づくり			
	視点	家族	事業番号	連番	110

R3年度

Goal(目標)	依頼会員と支援会員がお互いに会員になり、地域での子育ての相互援助を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートにより、育児のスキマを支え、子育てしやすい暮らしをサポートするために ・子育てのサポートができる会員、助けてほしい会員を把握し、相互援助のための調整を行う。

R3年度

Do(実行)	R3 実績額	175,000円
活動実績を示す指標	単位	R2(実績)
① 依頼会員	人	95
② 支援会員	人	50
③ 支援利用数	人	23
実施内容	R3(計画)	R3(実績)
会員から、次の子育て依頼に応える。	対前年比(%)	56
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、小学校、児童クラブ等から習い事や自宅への送迎 ・休日の食事付きの託児 ・閉園後の一時預かり ・会員の講習会など 	56	59%
②	3	6%
③	10	43%

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から会員の更新がなされていなかったため、現在のニーズに合わせて会員を精査した。 ・養育者の手が届かない「子育てスキマ」は少なからず存在すると思われるが、他者に依頼するまでもない場合が多い。 ・どこにも相談できない方のセーフティネットとして機能を維持していければよいと考えている。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 育児のスキマを埋めるサポートにより、安心した子育て環境を整えている。				

R3年度

Action(改善)	R3 実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児家庭に制度の周知を行い、本当に困った時には活用できる体制を整えたい。 ・乳幼児の母親と意見交換の機会を設け、日常の子育てスキマとサポート需要を把握したい。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	子育て支援ネットワーク協議会の取組の推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	子ども家庭福祉事業	事業番号	2083		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	10	連番 111

R3年度

Goal(目標)	子どもと子育てにやさしいまちづくりを実現する。
Plan(事業概要・計画)	<p>○要保護児童対策地域協議会(子育てネットワーク協議会)の適切な運営を図る。</p> <p>・代表者会議(年に1回) ・実務者会議(年に2回) ・個別ケース会議(随時)</p> <p>○普及啓発活動(11月の児童虐待防止推進月間に重点的に取り組む)</p>

R3年度

Do(実行)	R3実績	98,825円
活動実績を示す指標	単位	R2
①	虐待通告(相談)件数	10
②	虐待認定件数	2
③	個別ケース会議数	7
実施内容	<p>・虐待通告(相談)件数：22件 ・虐待認定件数：4件</p> <p>・実務者会議(R3.6月に1回実施) ・個別ケース会議(12回実施)</p>	

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>・所管が教育課から福祉事務所へと移り2年目。実際に虐待対応をしているため、児童相談所との職員、関との医療機関等との連携が図りやすいが、その反面、学校機関との連携がリアルタイムに図りにくくなった面がある。</p> <p>・個々のケースがそれぞれ重複課題を抱えて、対応に時間を要し苦慮している。</p>					

R2年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：必要時適切な対応・連携を実施しているが、体制整備が発展途上の部分がある。				

R2年度

Action(改善)	<p>R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画</p> <p>・記録用紙、個々のケースの管理の仕方等がまだ定まりきれていないため、既に体制整備がされている自治体の体制を参考にしつつ整えていく。</p> <p>・相談体制等の充実を図り、子育て施策の整理を行い、母子保健、母子福祉、教育等の連携のあり方を検討する。</p>
------------	--

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDG s	4・8・11
事業（細目）名	ちづ保育園事務費	事業番号	2050		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番

R3年度

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	「共に手を携え生きていく力を育てる」
(1)ちづ保育園の全体計画、年間指導計画、例月計画をもとに、日々の安全で安心できる健やかな保育を実施する。 (2)特別保育の実施により多様化する就労形態に寄り添い、家族の子育てと暮らしを支える。 (病児病後児保育・延長保育事業・障がい児保育・一時預かり事業・乳児保育ほか)	

R3年度

Do(実行)		R3 実績額		225,080,492円		
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	安定した保育等を実施するための職員の確保	人	45	45	44	98%
②	保育の質向上のための研修等(指導計画検証)	回	30	50	50	167%
③	小学校との円滑な接続にかかる就学支援	回	5	5	5	100%
実施内容		・事業継続に必要な職員を確保し、保育サービスの提供ができていたが、職員の病休等で安定した実施が難しくなった ・多様化する時代の変化に対応した保育を行うため、職員研修と保育理念の共有を図り、スキルアップを図った。 ・一方、養育者がワークライフバランスを整え、家庭での子育て力向上や保護者同士のつながりを強化する取組が必要。				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		・職員病休に伴い多様化する保護者の就労パターンに対応した保育の受入を行うことが難しくなった。 ・若手保育士が増加し、今後は効果的な研修を適宜実施し、保育士の対人支援スキルの向上により保育の質を高めていく必要がある。				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 就学前児童の健やかな育ちを支え、家庭と連携して良好な発達を支援している。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
・新しい生活様式に対応した保育方法や家庭との連携体制が求められる。園内での感染防止対策はもとより、マチコミメールを活用した保護者への情報伝達や、家庭目線での保育の在り方を柔軟に取り入れていく。 ・特別保育の実施が安定的に行えるよう、看護師・保育士の確保方策を検討する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保護者のニーズに対応した特別保育の継続	所属	教育課	SDG s	4・8・11
事業（細目）名	保育園事務費	事業番号	1080		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	11	連番

R3年度

Goal(目標)	多様な子育てニーズに対応する保育を行い、保護者の就労支援と子どもの発達を支える。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労等の事由で家庭での保育が難しい状況の園児を保育時間外に保育する「延長保育」、風邪等に罹患した状態を保育する「病児保育」、一時的な保育を行う「一時預かり事業」の実施。 ・多様な年齢、特性を持った子どもを受け入れる「乳児保育」、「障がい児保育」の実施。

R3年度

Do(実行)	R3 実績額	7,082,733円			
活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
① 延長保育利用希望申請園児数	人	52	70	60	115%
② 病児保育利用者数	人	62	200	150	242%
③ 一時預かり事業利用希望者数	人	16	16	16	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から開始した会計年度任用制度に基づき、職員配置の適正化と園運営の安定化のために保育時間の改正。 ・保護者の保育ニーズを調査し、第2期子ども子育て支援事業計画を策定。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の多様な保育ニーズに沿ったきめ細かい保育サービスの提供。 ・利用を希望された保育サービスを提供するために必要な職員の確保及び配置の維持。 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： ほのぼの保育所との連携により、待機児童の防止に貢献している。

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い、在籍園児数は減少しているものの特別保育を希望・利用する園児数には大きな変化が見られないため、現状を維持した保育サービスの提供を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	子育て支援センターの利用促進と家庭訪問事業による母子指導の	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名	子育て支援センター / 育児支援家庭訪問事業		事業番号	1786 / 1798	
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	連番	113

R3年度

Goal(目標)	子育て中の親子が相互の交流を行い、子育ての相談、情報の提供、助言、援助を行うことで孤立感や不安感の緩和を図る。
Plan(事業概要・計画)	<p>▶乳幼児保護者の幸福感アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親の安らぎとワクワク感がある行事を企画し、集まりやす雰囲気をつくる。 ・保護者同士の対話を増やし、ママ友の繋がりによる安心感・連帯感を高めることが、育児不安の緩和に繋がる。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額			6,030,000円	
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	利用人数	人	1500	1200	1000	67%
②	設定保育・行事・お出かけ支援数	件	27	26	26	96%
③	子育て講座・のびっこ相談会数	件	8	8	2	25%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの広場 平日9:00～16:00開設 ・誕生会（毎月）・作って遊ぼう（毎月）・お出かけ支援（毎月） ・行事（運動会・お楽しみ会・収穫祭・クリスマス会・お散歩会 ・子育て講座（ベビー＆ママヨガ講座ほか）・のびっこ相談会 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる身近な拠点としての中核的な役割を果たし、適時に必要な講座や情報提供を行い子育ての不安や負担の軽減につなげた。 ・昨年度末よりコロナウイルス感染症拡大防止のためイベントの中止、行事を縮小して行っているが、活動は充実しており満足感につながっている。 ・少子化、第2子以降無料により就園率が高く、未就園児の減少が課題である。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 利用者のニーズをうまく取り入れ、育児中のリフレッシュとして作用している。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安らぐ空間づくりと仲間づくりに繋がる行事の企画を行う。 ・月に1回、土曜開所日を設け、乳幼児家庭だけでなく、就園就学家庭の利用を促す。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者等移送サービス事業	所属	福祉課	SDG s	11
事業（細目）名	社会福祉総務費	事業番号	1057		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	13	連番

R3年度

Goal(目標)	在宅生活の自立支援を図り、地域福祉の増進・地域の交通手段の確保
Plan(事業概要・計画)	
<p>高齢者・介護認定者・障がい者等の移動手段を確保するため、タクシー利用費を助成。 シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う。</p>	

R3年度

Do(実行)	R3実績額					9,059,810円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)	
① 福祉有償運送サービス	円	660,000	660,000	480,000	73%	
② タクシー利用助成	円	8,126,100	8,000,000	8,579,810	106%	
③						
実施内容	<p>シルバー人材センターが運営している福祉有償運送サービスに補助を行う（利用者が負担する年会費に相当する額6,000円×95人）。 また、高齢者・介護認定者・障がい者等の移動手段を確保するため、タクシー利用費を助成。75歳以上の免許不所持者、介護認定を受けた者、障害者手帳（身体・知的・精神）所持者が対象で、タクシー利用1回につき3,000円を上限として利用費を助成するタクシー券を年48枚（月4回分）交付する（最低500円は自己負担）。</p>					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>タクシー利用費助成については、平成25年4月の施行以来、高齢者や障がい者等の日常生活に必要な交通手段を確保するための重要な役割を果たしている。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：高齢者や障がい者等の日常生活に必要な交通手段を確保する事業が出来ている				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<p>タクシー利用費助成については、年々上昇する利用費に対して新たに令和2年度から県の補助金交付が始まった。令和4年度についてもこの補助金を活用しながら助成事業の維持を果たしていきたい。また今後地域共助交通施策とも協議・連携し、事業の検討を行う。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	成年後見制度等の活用による高齢者の権利擁護の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・権利擁護事業費)／成年後見制度利用支援事業	事業番号	2105／1943		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	14	連番

R3年度

Goal(目標)	高齢者の権利擁護の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待、消費者被害など権利擁護に関する相談受付・対応、必要な情報提供。 ・消費者生活センター、あんしん相談センターささえーる等との連携。 ・成年後見制度の利用促進における申請の支援。 ・定収入の方への後見人等の報酬助成。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					0円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	高齢者虐待・権利擁護に関する相談実件数	件	9	10	5	56%
②	後見人等報酬助成件数	件	2	2	0	0%
③		件				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族、関係機関等からの権利擁護に関する相談の受付、対応、情報提供を行う。 ・消費者被害に関しては消費者生活センター、判断能力の低下がみられるケースについてはあんしん相談センターささえーる等と連携して対応。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の恐れありと通報があったケースに対してR2末に改正したマニュアルに沿って対応が可能となった。期日を決めて、評価していくことが必要であるが、その判断が曖昧になりやすい。 ・消費者生活センターやささえーる等の関係機関と随時相談、連携し、丁寧な対応や啓発活動が行えている。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 法律や対応マニュアルに基づき、適切な対応ができている。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の初期対応は迅速に行っており、対応計画の作成及び対応は行っている。期限までに対応の評価が行えるよう、スケジュールを可視化できるようにするなど工夫する。 ・消費者被害や成年後見制度利用に関して、各関係機関と連携し、相談対応、啓発活動を引き続き行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDG s	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・総合相談事業費)	事業番号	2105		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	15	連番

R3年度

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者についての総合相談を受け付ける。 ・介護認定の申請受付。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					18,324,452 円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	総合相談受付件数	件	4,518	4,700	4,599	102%
②	介護認定新規申請受付件数	件	109	115	121	111%
③						
④						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の総合相談窓口として、医療・介護・福祉や、それに関係する社会資源についての情報提供も含めた総合相談を実施。関係機関との連携も行う。 ・総合相談の結果、要介護認定の申請が必要な人には、申請書類の受理、認定調査を行う。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内外関係機関や民生委員等と連携しながら、総合相談につないだ方がよいケースを早期に把握し、対応している。 ・高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの知名度は低く、引き続き窓口のPRは必要。 					

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： 関係機関等との連携、丁寧な相談等、質の高い総合相談が行えている。					

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い総合相談を行えるよう、引き続き、関係機関等との連携を行い、職員の質の向上（研修受講など）に努める。 ・地域包括支援センターの役割を、パンフレットや広報等を活用して周知する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDG s	3、11
事業（細目）名	認知症初期集中支援推進事業	事業番号	2046		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	15	連番

R3年度

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れ相談日の設置

R3年度

Do(実行)	R3実績額	5,849,629円				
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)	
①	物忘れ相談延件数	件	6	8	4	67%
②						
③						
④						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月定例で物忘れ相談日を設け、認知機能低下の早期発見、早期対応、本人や家族の安心につなげる。 ・スクリーニングとして、物忘れ相談プログラムを活用。脳の健康教室でもプログラムを活用しスクリーニング、評価をおこなっている。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れを心配している人が相談に来やすいよう、毎月定例で相談日を設けている。 ・相談に来た人に対して、今後の必要な対応策として体操教室の案内は提案できているが脳元気教室の提案がリアルタイムで行えない。 ・相談に訪れる人が少ない。 					

R3年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 相談に来た人へは一定の効果がある。気軽に相談できる工夫が必要。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・早期相談の必要性を周知するとともに、集落の集まりで物忘れ相談プログラムを体験するなど気軽に相談できる工夫を行う。また、現在、相談に来た人が適切なタイミングで脳元気教室等に案内ができない体制となっている。適切なタイミングで教室に繋げる仕組みづくりが必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（高齢者）	所属	福祉課	SDGs	3、11	
事業（細目）名	認知症地域支援・ケア向上事業	事業番号	2047			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	家族	事業番号	15	連番	116

R3年度

Goal(目標)	高齢者の総合的な総合窓口としての役割を充実させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者家族の会の開催。 ・認知症当事者やその家族、地域住民などが集える場所(オレンジカフェ)の開催 ・認知症を知り地域で支える研修会の開催

R3年度

Do(実行)		R3実績額	243,233円			
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	介護者家族の会参加延人数	人	23	30	33	143%
②	認知症カフェ(オレンジカフェ)参加者	人			183	-
③	認知症を知り地域で支える研修会	人			31	-
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人と家族の会鳥取県支部代表者を助言者に迎え、日ごろの家族の悩みを引き出したり、介護者同士の経験を共有しあっている。家族の会への参加が困難な場合は個別訪問し対応している。 ・世界アルツハイマー月間に合わせて認知症啓発のためのパネル展示実施。 ・認知症カフェを2ヵ所で毎月1回開催 ・認知症を知り地域で支える研修会を開催(芦津) 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・介護者は日頃の介護疲れ等で心身が疲弊し1人悩んでいることも多い。このような場があることで日々の介護疲れの軽減につながり、精神的な安定にも繋がる。 ・困難ケースとして、地域で生活するためには地域の人たちの「認知症」に対する正しい知識、理解が必要である。もっと自分事として身近に捉えてもらい、人と人の関わり方が重要であることを伝えていく必要がある。 ・アルツハイマーデー期間に認知症啓発のためのパネル展などを実施したがこの会に参加する人は少なかった。 				

R3年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：意義ある事業だが、参加者が少なく事業目的を達成できていない。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネとも連携し、この事業の目的を周知するとともに、介護者等が参加しやすい事業形態を検討する。 ・出張版の家族の会などを計画し、より相談、参加しやすい体制になるよう会のあり方を検討する。 ・認知症に関する普及啓発と認知症の人・家族の支援体制を構築するため、認知症に関する講演会等を開催する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり【総務課所管】	所属	教育課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	小学校・中学校同和教育研究事業	事業番号	1329・1330		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	部落差別の現実をふまえ、差別に気づき、差別に負けない、人の痛みのわかる児童の育成、いじめやなかまはずし等を許さない人権を尊重する教育の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校同和地区進出学習会の実施 ・小中学校における部落差別をはじめとする差別の解消に向けた人権教育の充実

R3年度

Do(実行)	R3 実績額	672,000円				
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	地区進出学習会の実施校	校	2	2	2	100%
②	学校における人権教育(人権学習公開等)の実施校	校	2	2	2	100%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において地区進出学習会を実施し、地区児童生徒の学力向上、人権学習、仲間作りの充実を図った。 ・小中学校で人権教育公開学習を実施し、児童生徒の人権学習の取り組みを周知するとともに保護者、地域住民への啓発も行った。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育公開学習により子どもの人権学習を深めるとともに、保護者とともに考える機会を持つことができた。 ・総務課、児童館等の関係機関と連携し、人権教育を進めることができた。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 教員と地域が連携した人権学習が進められている。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も小中学校及び総務課人権担当と連携し、人権教育の充実を図る。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	同和対策事業	事業番号	1071		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑩	連番

R3年度

Goal(目標)	部落差別解消に向けての人権課題、生活課題の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権の擁護に関する審議会の開催 ・ 本折共同作業所の解体工事による地区住民の安全確保。 ・ 部落解放同盟への活動支援

R3年度

Do(実行)		R3実績見込額			3,490,161円	
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	基本的人権の擁護に関する審議会	件	1	1	1	100%
②	本折共同作業所の解体工事	箇所	0	1	1	-
③	部落解放同盟活動支援	件	1	1	1	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権の擁護にかかる審議会の実施 ・ 本折共同作業所の解体工事による地区住民の安全確保 ・ 部落解放同盟への活動支援 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区住民の人権意識の高揚の成果があるが、地区内における意識や生活による格差が課題である。 ・ 久志谷児童公園の整備により、地区内外の子どもたちの利用拡大が望まれる。 ・ 本折共同作業所の老朽化により、解体工事を行うことにより地区の環境を安全に保つことが出来る。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：運動団体においてもコロナ禍の中で活動の自粛を余儀なくされた。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部落差別解消に向けて生活・意識の課題把握が必要。 ・ 子どもたちが安全に遊ぶために、久志谷児童公園の遊具の修繕が必要。 ・ 本折屯所の屋根が朽ちており、安全を保つため修繕が必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	社会同和教育費	事業番号	1855		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑩	連番

R3年度

Goal(目標)	部落差別解消に向けて人材育成、教育・啓発推進により住民への周知を進める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町同和教育推進協議会との連携（部落解放智頭町研究集会や小地域推進集団学習会の実施） ・ 地区奨学生・保護者研修会の実施 ・ 男女共同参画、同和問題についての職員研修を3回実施

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					4,322,770円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	智頭町同和教育推進協議会との連携	件	1	1	1	100%
②	奨学生・保護者研修会	件	3	3	3	100%
③	職員等人権同和問題研修会	件	3	3	3	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部落解放智頭町研究集会実行委員会の開催や小地域推進集団学習会実施の推進 ・ 奨学生・保護者研修会を3回実施 ・ 男女共同参画、同和問題についての研修会を3回実施 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で研究集会の実施が遅れているが、小地域学習会は年内に実施できる地区が増えている。 ・ 地区の子どもたちの進路保障に向けて、自覚が高まっている。 ・ 人権・同和問題解決のリーダーを担うべき職員の人権意識の高揚がなされてきた。 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：研修機会が減っているが、継続して啓発推進ができた。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践、行動が伴うための研修を開催していく。 ・ 同和教育指導委員の人材発掘を行うことにより、より一層人権啓発を進めていく。 ・ 同和教育推進協議会との連携を密にし、さらに職員の人権意識を高める活動を進める。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	社会同和教育費	事業番号	1856		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	⑩	連番

R3年度

Goal(目標)	部落差別解消に向けての人権課題、生活課題の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町同和教育推進協議会との連携（部落解放智頭町研究集会や小地域推進集団学習会の実施） ・ 町内企業等への啓発 ・ 人権同和教育推進協議会への助言

R3年度

Do(実行)					R3実績見込額	2,527,329
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	智頭町同和教育推進協議会との連携	件	1	1	1	100%
②	町内企業への啓発	件	0	1	1	-
③	人権同和教育推進協議会への助言	件	1	1	1	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部落解放智頭町研究集会実行委員会の開催や小地域推進集団学習会実施の推進 ・ 地区同和教育推進協議会への助言 ・ 男女共同参画、同和教育推進協議会への助言 ・ 男女共同参画、同和教育推進協議会への助言 ・ 男女共同参画、同和教育推進協議会への助言 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で研究集会の実施が遅れているが、小地域学習会は年内に実施できる地区が増えている。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：工夫をして小地域学習会などへの助言を行った。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育推進員の業務をおこなえる環境改善

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	社会教育施設費	事業番号	1209		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	① 家族	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	人権侵害、あるいは差別をもたらす要因の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理 ・習字教室、文化教室等の実施 ・部落問題講演会の実施

R3年度

Do(実行)					R3実績額	1,572,128円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	教室、講演会	件	1	1	1	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・部落問題講演会⇒対象者を地域住民や一般とし2回開催 ・習字教室⇒地域児童対象で43回実施 ・文化教室⇒地域住民対象で2回実施(パステルアート、フラワーアレンジメント) ・部落解放文化祭⇒2地区合同開催(展示・発表) 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響があり講演会や審議会等を延期したが、概ね予定事業は実施することが出来た。 ・文化教室の対象者が高齢者に偏りがあったので、地域の子ども又は親子でも参加できるような内容を多方面から考えていく必要がある。 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：地域や児童館との連携がなく、事業に対しての工夫もなかった。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防とアフターコロナを見据え、教室、講演会、文化教室を、適正な方法で実施する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	隣保館運営費	事業番号	1073		
総合計画	基本理念	人権を尊重するまちづくり			
	視点	①家族	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	地域住民の福祉の向上と人権啓発の拠点となる開かれたコミュニティセンター
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談事業 ・ 啓発及び広報事業 ・ 教育・文化活動（習字・生花） ・ 福祉事業（いきいき教室）

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額		3,775,622			
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
①	習字教室	回	41	48	42	102%
②	生花教室	回	18	21	20	111%
③	いきいき教室	回	2	6	6	300%
④	解放文化祭	回	1	1	1	100%
⑤	隣保館だより・ぐんりんぼう	回	3	3	8	267%
⑥	地区高校生保護者交流会	回	1	1	1	100%
⑦	ネットモニタリング	回	41	53	53	129%
⑧	人権問題講演会	回	0	1	0	-
実施内容	習字教室：毎週水曜日 生花教室：1月を除く毎月第2・第4水曜日 いきいき教室：本折・久志谷各3回ずつ実施 解放文化祭：2地区合同で開催 隣保館だより：年6回発行 ぐんりんぼう：年1回発行 地区高校生保護者交流会：年1回開催 ネットモニタリング：毎週木曜日実施 人権問題講演会：年1回実施（中止）					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
・ 昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響はあったが、昨年の反省もふまえた事業の実施ができた。						

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：コロナ禍の中、相談員と協力して事業を行った				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民を含めた地域共生社会の実現のために、利用しやすい施設づくりを行う。 ・ 新型コロナウイルス感染症の様子を見ながら、感染症対策を徹底したうえで引き続き事業を行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	久志谷児童館費	事業番号	1086		
総合計画	基本理念	人権を尊重するまちづくり			
	視点	家族	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	部落の完全解放の担い手の育成
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習 ・仲間づくり ・学力保障

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					119,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	解放子ども会	回	23	25	37	161%
②	地区学習会	回	25	26	27	108%
③	保護者等研修会	回	1	2	2	200%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習 「未来は自分たちで創ろう」のテーマで、差別の無い未来を創る担い手の育成 ・地区学習会 学力保障、地域学習、仲間づくり ・保護者等研修会 児童館の目的、めざす子ども像、解放の視点での子育て意識の高揚を伝える 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区児童の学力保障へむけての意識が定着し、落ち着いて学習に取り組む姿勢が出ている。 ・解放子ども会活動において、未来への夢や希望を持ち、仲間意識が高まっている。 ・子どもを取りまく環境（特に地域、家庭、学校）との連携が高まり、地域での共同子育て意識が高まっている。 					

R3年度

評価	B
-----------	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
-----------	---

評価理由： コロナ禍の中、工夫をして事業を行い児童の成長に携わった。

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	<p>R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権チームで連携し、保護者の理解を深める取り組みが必要 ・夢実現に向け、個々の力を伸ばしていくスキルが必要 ・子ども達が達成感を持てる具体的な取り組みが必要
-------------------	--

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人権を尊重するまちづくり	所属	総務課	SDG s	10・11・16
事業（細目）名	本折児童館費	事業番号	1087		
総合計画	基本理念	人権を尊重するまちづくり			
	視点	家族	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	仲間を大切に、部落問題をはじめとするあらゆる差別に真正面から立ち向かえる子どもの育
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・解放子ども会活動（一年生を迎える会、世代間交流、一日体験学習、解放文化祭、反差別平和クリスマス会、野外活動、お茶会、お別れ会ほか） ・関係機関との連絡調整と活動支援

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					11,283,000円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)	
①	回	20	30	28	140%	
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・解放子ども会（一年生を迎える会、一日体験学習、親子ふれあい交流会、反戦平和映画会、解放文化祭） 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習テーマ「わたしたちのむら・もとおり」を通して、村に誇りをもち、自分を大切にすること、思いやりの心を育て人権意識の啓発につなげてきた。 ・対象児童7名と少ないが、少人数を生かし特性や能力に合わせた事業展開と声かけを行った。 					

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由：コロナ禍の中、工夫をして事業を行い児童の成長に携わった。					

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の個票を作成し、仲間関係を観察する。健全育成と人権意識が高められるよう事業内容を展開する。 ・人権啓発のため、地域のことを知り、地域の人とふれあう企画を検討する。 ・解放子ども会・地区進出学習会の学習が、家庭につながられるよう事業内容の展開。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報公開条例・個人情報保護条例に基づく円滑な情報公開の推進	所属	総務課	SDG s	17
事業（細目）名	一般管理費	事業番号			
総合計画	基本理念	一人ひとりの個性を活かしながら支え、つながる家族			
	視点	①家族	事業番号	⑰	連番

R3年度

Goal(目標)	町政の説明責任を全うすることにより、公正で開かれた町政を推進する
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開の積極的な実施 ・個人情報取扱の厳正化

R3年度

Do(実行)	R3実績額					0
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	情報公開請求件数	自治会	53	50	49	92%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開請求があった際、各担当課へ通知する。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の情報公開請求件数は49件であり、円滑に処理をおこなえた。 ・3カ年の件数はR元年度が35件、R2年度が53件、R3年度が49件となった。 ・請求内容は工事設計書、本人通知制度に関する物が主だった。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 情報公開を適正に行うことが出来た。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>個人情報保護法の改正に伴い、新たに「智頭町個人情報の保護に関する法律施行条例」、「個人情報ファイル簿」等を整備し、個人情報取扱いの厳正化や情報公開制度の周知を行う。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	買い物弱者のためのシステムづくり	所属	企画課	SDG s	10
事業（細目）名	地域支援推進事業	事業番号	2021		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	18	連番

R3年度

Goal(目標)	山間集落の買い物弱者に対して、町内の事業所が移動販売車を利用し、販売することで買い物弱者への支援を行う。その際の移動販売車運営経費について一部補助を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町・鳥取県補助制度の周知 ・ 支援対象事業者のヒアリング（買い物福祉サービス支援） ・ 移動販売車導入の補助

R3年度

Do(実行)	R3実績額					262,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	買い物福祉サービス支援交付件数	件	1	1	1	100%
②	支援対象事業者のヒアリング	回	3	3	2	67%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者へ補助金を周知 ・ 1事業者へ補助金を交付 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者を支援することにより、買い物弱者への買い物支援や高齢者の見守りに繋がっている。 ・ 事業者と状況経過のヒアリングを行うことで、今後の運営や新たな買い物支援の検討に繋がっている。 					

R3年度

評価	B
-----------	---

担当課長評価

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価	B
-----------	---

評価理由：	買い物難民をなくすために重要な事業であるが、デジタル化を含めた検討が必要
--------------	--------------------------------------

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ より住民に寄り添った見守り体制の構築を行うため、事業者と協議を行う。 ・ 新告知端末を利用した買物支援の実現に向けて、移動販売車の導入を支援に向けて補助金確保が必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	相談支援体制の充実（障がい者自立支援）	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	地域生活支援事業	事業番号	1803		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	20	連番

R3年度

121

Goal(目標)	障がい者・その家族の心身の状態や生活の困り事が相談でき、地域で安心して生活出来る。
Plan(事業概要・計画)	障がい者・その家族の心身の状況や生活の困り感等の相談に応じ、必要に応じて医療や障がい福祉サービスの利用に繋げる。鳥取県東部4町共同で相談支援センターサマーハウスに業務委託し実施。障害者総合支援法に定められた必須事業。

R3年度

Do(実行)		R3実績額			3,031,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	相談回数	回	545	670	683	125%
②	サービス利用への結びつけ	名	7	5	4	57%
③	サマーハウスとの定例会	回	12	12	12	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談（訪問・来所・電話・ファックス等） ・個別支援会議 ・研修会・会議等への参加 ・見学・通院同行 ・ひきこもり訪問 ・その他個別ケースに応じた対応 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	業務を委託する相談支援センターサマーハウスの所在地からの距離、業務量の多さから、支援を必要とする際に即応が難しい場合も生じている。基本的には、対象者の個別性に応じた支援が出来ている。年度後半の新型コロナウイルス感染拡大により一部の業務はオンラインでの実施に置き換わっている。					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 障がい者や家族にとって重要な事業であり、相談にきちんと対応している。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	継続して業務委託を実施し相談支援体制の提供を行う。鳥取県東部4町障害者地域生活支援協議会において基幹相談支援センターの設立について検討を行い、場合によっては一部事務を基幹相談支援センターへ委託し業務の改善を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域生活支援事業（障がい者自立支援）	所属	福祉課	SDG s	11
事業（細目）名	地域生活支援事業	事業番号	1803		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	20	連番

R3年度

Goal(目標)	地域の状況に応じ柔軟に事業を実施し、地域で日常生活及び社会生活を営むことができる。
Plan(事業概要・計画)	地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を実施することで、障がい者等が地域で日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。障害者総合支援法に定められた必須事業と任意事業からなる。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					3,717,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	事業実績見込	千円	3,728	4,560	3,717	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・意思疎通支援事業 延利用数75回 ・日常生活用具 延利用数265回 ・移動支援 延利用数4回 ・日中一時支援事業 延利用数6回 ・自動車改造助成 延利用数1回 ・運転免許取得助成 延利用1回 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>現在利用者の居ない事業によっては、事業所がサービスを終了したものがあため、利用希望者が出た場合には事業の実施方法等を見直すなど柔軟に対応して行く必要がある。一方、地域の実情に合わせて適宜必要な事業を追加するなどしている為、住民の生活に必要な役割は果たしている。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 利用者の状況にあわせた適切な支援を行っている。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>地域生活支援サービスについては利用者の状況変化や死亡により増減があるが、提供事業所や対象用具については関係事業所、他自治体と協議し提供体制の継続的な強化を図る必要がある。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	世帯を横断する低所得者対策事業	所属	福祉課	SDGs	11	
事業（細目）名	生活困窮者自立相談支援事業	事業番号	2026			
総合計画	基本理念	一人ひとりの個性を生かしながら支え、つながる家族				
	視点	家族	事業番号	21	連番	122

R3年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	生活に困難を抱える者の相談窓口のワンストップ化を実現し、相談者が困ることが無いような体制作りを行う。断らない相談支援を実現し、必要とされる出口事業（生活保護、家計改善、就労支援等）へのつなぎを行なう。

R3年度

Do(実行)		R3実績額		1,266,249円		
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	生活困窮者自立相談支援事業利用者	人	10	11	13	130%
②	就労支援利用者	人	5	3	4	80%
③	家計改善事業利用者	人	3	4	6	200%
実施内容	①断らない相談体制の構築 ②被保護者、生活困窮者への就労支援（伴走型支援） ③出口事業の充実支援					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	① 実際に相談を断ってはいないが、体制構築をしっかりと行うには、まだまだ課題が多い。 ② 就労支援については、伴走型で行い、就職に繋がっている者も多い。 ③ 出口事業として、家計改善や債務整理、就労支援、障害者施策への支援等幅広く行っている。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： コロナ禍で困難なケースが増加も、個に合わせた伴走型支援を行っている。				

R3年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	令和3年度は、重層的支援体制整備の構築に向けての仕組みづくりを重点的に行い、より多岐に渡る相談に対応できるよう整えていく。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	自主防災組織の育成および活動支援	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	1	連番

R3年度

Goal(目標)	自主防災組織（支え愛マップ作成済自治会）率100%
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会（自主防災組織）向け防災活動用補助金を活用した地域防災活動の支援。 ・支え愛マップづくりを支援する。→説明会の開催、実施支援。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					400,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	みんなで取り組む防災活動支援事業費補助金活用	自治会	2	5	2	100%
②	支え愛マップづくり（新規）	自治会	0	1	2	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用自治会：河一（消火ホース・格納箱等更新）、中島（消火栓修繕） ・支え愛マップ（新規）：杉の香、穂見 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により支え愛マップづくりの実績は少なかったものの前年度以上の実績となった。 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用団体を増やし、地域防災に力を入れてもらうよう、改めて周知する。 ・新型コロナウイルス感染症終息後に、支え愛マップづくりの新規作成、更新作業を周知する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	消防団活性化対策の推進	所属	総務課	SDG s	17
事業（細目）名	非常備消防費	事業番号	1179		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	2	連番

R3年度

Goal(目標)	消防団活動を継続させる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団拠点施設の整備（残りは智頭地区消防団拠点施設）→役場庁舎の整備方針に従う。 ・消防団員の装備の充実を図る。 ・消防団員の処遇改善。（報酬等）

R3年度

Do(実行)		R3実績額		21,194,105円		
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	消防団員数	人	403	403	388	96%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員数を維持するために、戸別訪問を行い勧誘する。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプ所有分団へ防火衣を配備し、安全性の向上に寄与した。 ・消防団員報酬・出動手当の増額 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく音響設備を整備し、訓練環境を改善して消防団員の活動意欲向上に寄与する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	疎開保険事業	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	疎開保険事業	事業番号	1951		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	6	連番
				連番	126

R3年度

Goal(目標)	加入者へ町の特産品を送ることで智頭町について興味を持ってもらい、関係人口の創出を図るとともに町内生産者の収入向上に繋げ地域活性化を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・疎開保険加入者への特産品送付 ・疎開保険のPR活動の実施

R3年度

Do(実行)	R3実績額	944,310円				
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	加人口数（10月1日時点）	口	51	110	61	120%
②	特産品送付	回	2	1	1	50%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・特産品送付（10月、11月実施） ・疎開保険リブランディングの実施 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・TV等に取り上げられたこともあり加人口数が増加した。（昨年度比10口増加） ・加入者の満足度向上を図り、継続率UPを目指すためアクションが必要。 				

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由：関係人口創出事業であり、発展的な見直しが必要。					

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・疎開保険避難訓練ツアーを行い、疎開保険の必要性を加入者に再確認して頂くとともに、受け入れる際の体制確認を行う。 ・特産品を発送し、智頭町の魅力を発信する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	まちづくり支援事業	所属	企画課	SDG s	8、11
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030		
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	10	連番

R3年度

Goal(目標)	コミュニティ団体やボランティア団体等が行う地域に密着した協働によるまちづくりを推進し、地域活動の振興を図り、まちづくりへの積極的な参加を促していくことを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成による全戸配布・情報周知 ・まちづくり団体による申請内容の精査 ・選考委員会の開催による事業採択 ・これまでの採択事業の経過を知るため、報告会などを開催。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					3,353,521円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	チラシ配布などの情報提供	回	6	6	6	100%
②	まちづくり支援事業の申請件数	件	5	2	2	40%
③	②のうち採択件数	件	3	2	2	67%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成・配布、HP・告知端末を活用した住民への周知を行った。（3期分） ・事業申請を行う団体へのヒアリングを実施。（事業計画、継続性について） 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・採択事業により、新たなイベントの実施、自然の新たな活用、住民活動の促進等に繋がる事業となった。 ・新型コロナの影響により、これまでの採択事業の経過を知るため報告会を開催できていない。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：	支援額も魅力であり、町内団体等にしっかりとPRしてもらい、効果的に実施すること			

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに事業を実施するため、申請内容のより正確な審査が必要。 ・様々な活動団体へ補助制度の更なる周知の徹底。 ・過去採択事業の経過調査。 						

第7次総合計画進行管理検証シート(連番27、100、132を統合)

事業名	観光協会の機能強化及び国内外へのPR		所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	観光事業			事業番号	1167	
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	13	連番	128

R3年度

Goal(目標)	智頭町の観光の中核を担う観光協会内の魅力向上をはかる。					
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 観光素材の磨き上げ。 観光協会運営補助。 旅行商品の造成。 地域おこし協力隊を活用した新たな目線での観光PR。 情報発信及び物販売り上げの増加。 圏域内の自治体と連携し、オンラインPRイベントを開催する。 					

R3年度

Do(実行)	R3実績		18,980,945円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	観光協会独自のツアー造成数	個	2	5	1	50%
②	物販売上収益	円	860,000	1,000,000	1,025,000	119%
③	都市部への観光PR・オンライン移住イベントの参加	件	3	6	4	133%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊を活用した新たな目線での観光PR及びツアー造成。 売上増加のための物販陳列商品の見直し。 観光協会への運営補助。 観光協会HPや魅力発信事業を活用した国内外への魅力発信。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会の運営は行政依存となっており、ツアー造成や物販売上の増加など自主努力を伴った運営気概を引き出す必要がある。 コロナ渦で各種PRイベントが実施が出来なかったが、圏域自治体で連携しオンライン移住イベントに参加、智頭町のPRを行った。 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由:	コロナウイルス感染症の影響でPR活動が出来ていないが、2025大阪万博に合わせた取組・PRが必要である。
-------	--

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> 今後は売上及びアフターコロナに向けた観光客増加に向けた自主的な取り組みが必要不可欠であり、そのための連携強化を計る。 智頭町の特色である取組(森のようちえん・住民自治・SDGs等)を対外的にPRし、コロナ後を見据えた効果的な種まきを行い、観光協会の収入源となる旅行商品数を増加させる必要がある。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	東部圏域をはじめとする近隣自治体との連携による移住定住促進及び広域観光事業	所属	企画課	SDGs	17	
事業（細目）名	移住定住促進事業	事業番号	1741			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	14	連番	129

R3年度

Goal(目標)	鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、新温泉町、香美町と連携することにより、県外の人にイメージをもってもらいやすくし、観光PRや移住定住相談等の推進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の自治体と連携し、移住相談会を開催する。 ・魅力発信事業による町のPRを推進する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					4,224,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	移住相談会への参加	件	1	1	1	100%
②	町民ライター数の増加	人	9	10	7	78%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちとして「とっとり来楽暮カフェ（オンライン）」へ参加（12月） ・町民ライターとの定期的な意見交換 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン移住イベントに参加し、相談件数実績は2件であった(智頭町枠2件)。参加者には、今後定期的に連絡を取るなどのアフターフォローが必要である。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： スケールメリットを活かした取組であることから、より一層の連携を図ること。また、智頭町側からの積極的な連携を働きかけること。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進及び観光客増加をしていくため、中核市である鳥取市との連携しアフターコロナに向けた効果的なPR方法について協議を重ねる。 ・高校生ライターの実現に向けた活動 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報発信の強化	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	文書広報費	事業番号	1008		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	18	連番

R3年度

Goal(目標)	広報誌作成等を通し、住民らに行政情報や話題を提供するほか、町外の方に智頭町に興味を持ってもらう契機とする
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の広報誌の発行 ・読み手が興味を持つような記事の作成(随時) ・読みやすく、興味を引くようなレイアウト、書体の検討(随時) ・ホームページでの情報発信方法の検討 ・コロナウィルスに関する情報の発信(随時)

R3年度

Do(実行)	R3実績額					6,177,600円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	広報担当者主導による特集作成数(イベント等によるものを除く)	件	6	5	5	83%
②	広報誌の発行数	冊/年	12	12	12	100%
③	外部団体SNS、発行物への情報提供数	件	8	7	7	88%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の広報誌の発行 ・広報誌のレイアウト検討 ・麒麟のまちりレー記事等の作成 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・町で行っている事業や開催予定のイベント、くらしの情報について情報を発信した。 ・広報記事のレイアウトなどを徐々に刷新し、見やすくなるような検討を行った。 ・告知端末やLINEアカウントの特集を掲載したものの、情報が行き届いていない。発信力を高める必要がある。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： SNSでの発信にも連携しており、今後はより充実した情報発信に努めること。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報媒体としてだけでなく、読み物としても楽しめるような広報誌の作成(需要がありそうな特集記事の作成など。) ・広報誌制作コストと読みやすいデザインを両立するための検討。(ページ数の調整/文字数の削減など) ・新HP/各種SNSの効率的な運用の検討。(AIチャットボット・LINEアカウントなどの活用・管理) 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	おせっかい奨学パッケージの推進		所属	企画課	SDG s	17
事業(細目)名	おせっかい奨学パッケージ推進事業			事業番号	2086	
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	② 仲間づくり	事業番号	20	連番	133

R3年度

Goal(目標)	子どもたちの学びたい気持ちを支援し、町外で学ぶ間もおせっかいでの町、町民とのつながりを続け、子どもたちの町への愛着を育てる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・おせっかい奨学パッケージを周知し、おせっかい奨学基金を支えるため寄附活動を行う。 ・おせっかい奨学生インターンプロジェクトにより、奨学生と地域がつながる仕組みをつくる。 ・メンターが発行する「月刊おせっかい」により顔の見える関係性をつくる。

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					2,495,831円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	寄附(企業版ふるさと納税含む)	円	50,413	100,000	1,633,635	3241%
②	インターンプロジェクト	人	0	1	1	-
③	月刊おせっかい発行	号	0	10	11	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税3社 ・インターンプロジェクト 1名実施 ・月刊おせっかい創刊号～10号、号外の計11号を刊行済 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税の実績が3社あった ・基金積立を行った(2,416,309円) ・鳥取信用金庫と連携した説明会に16家庭が参加(11名が新規登録) ・インターンプロジェクトにより、各団体との連携ができた 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由: 若年層へリーチする事業で今後の取組によって大きな効果が期待できる。				

R3年度

Action(改善)						
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> ・町内企業へ向けた、おせっかい協賛制度の創設 ・インターンプロジェクト第2弾の計画 ・メンターとの交流事業実施 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公民連携事業の積極的な検討及び実行	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	商工振興費	事業番号	1165		
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	1	連番

R3年度

Goal(目標)	公共事業発注時の規程を整備し、積極的な検討と具体的な実施に取り組む体制をつくる
Plan(事業概要・計画)	
PFI検討委員会の開催 内閣府の優先的検討規程運用支援事業による規程案の作成 民間企業へのサウンディング調査の試行	

R3年度

Do(実行)	R2実績額					0円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	PFI検討委員会開催	回	3	5	10	333%
②	サウンディング調査	回	0	1	1	-
③						
実施内容	内閣府の優先的検討規程運用支援事業に伴う事業者（日本経済研究所）との協議を実施（計7回）。職員向けPFI勉強会の開催（1回）、平野邸雪かき、動画撮影、ぎふPFIリモート研修への参加。PFI勉強会の開催、民間企業サウンディング調査（1社）を実施した。					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	優先的検討規程案の作成完了に伴い、今後規程に従った遂行が求められる。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：連携協定も公民連携の一つであり、ハード面だけでなくソフト面においても一層進めて行く必要がある。				

R3年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
町事業を行う際の検討規程を定め、可能性調査を実施する体制づくりを行う。 簡単なことからでも取り組む雰囲気醸成し、ノウハウを蓄積する。 民間企業とのパイプをとおした様々なアイデアを検討し、行政としての協力可能性を模索する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	老朽化施設更新事業（下水道）	所属	税務住民課	SDG s	6
事業（細目）名	公共下水道整備費	事業番号	1423		
総合計画	基本理念	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。			
	視点	環境整備	事業番号	4	連番

R3年度

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	・ストックマネジメントによる継続的、計画的な施設の更新

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					15,324千円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	農業集落排水	千円	0	9100	9022	-
②	公共下水道	千円	1,375	9,000	6302	458%
③						
実施内容	【令和2年度】紅葉橋マンホールポンプ及び公共下水道マンホールポンプ場監視通報装置更新に伴う設計業務の委託 【令和3年度】紅葉橋マンホールポンプ及び公共下水マンホールポンプ場監視通報装置改築更新 智頭浄化センタースクリーンユニット改築更新に伴う設計業務の委託					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・ストックマネジメントに基づき、修繕、改築を発注。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
スtockマネジメントで設定する改築年数より劣化が見られる施設もあるため、計画を前倒しするなどの見直しをする必要がある。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ぐるぐるプラン推進事業	所属	税務住民課	SDG s	12
事業（細目）名	ぐるぐるプラン推進事業	事業番号	1854		
総合計画	基本理念	生ごみの減量化、資源化を推進しよう。			
	視点	環境整備	事業番号	21	連番

R3年度

Goal(目標)	生ごみの減量化、資源化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを分別収集し、液肥にすることでリサイクルする。

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					3,884千円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
①	生ごみ回収量	ト	67	67	61	91%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを分別収集 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は山形・山郷地区での実施だが、いかに実施地域を広げるか、課題が残る。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	生ごみの収集について、ぐるぐる循環部会（百人委員会）とも力を合わせ、さらなる啓発を行っていく必要があると考える。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	資源回収など循環型社会の実現に向けた取組	所属	税務住民課	SDG s	12
事業（細目）名	清掃総務費	事業番号	1118		
総合計画	基本理念	リサイクルで私たちから積極的に環境を守っていきましょう			
	視点	環境整備	事業番号	22	連番

R3年度

Goal(目標)	リサイクル・リデュースでごみの削減
Plan(事業概要・計画)	・資源ごみ回収に報奨金

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					128千円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	資源ごみ回収量	トン	107	100	86	80%
②						
③						
実施内容	・資源ごみ回収に報奨金					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・資源ごみ回収によるリサイクルの啓発が出来た。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
今年度と同様にリサイクルの啓発を継続していく。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	おせっかいのまちづくり推進事業	所属	福祉課	SDG s	11
事業（細目）名	社会福祉総務費	事業番号	1057		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで作るまちづくり			
	視点	家族	事業番号	連番	IV-1

R3年度

Goal(目標)	少しのおせっかいで人と人がつながり、安心で安全な住みよいまちをつくる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・おせっかいチャレンジカードの実施 年7回（小中学校） ・町報紙、告知端末、SNS等を活用したおせっかいのまちづくりPR ・まちのコイン「てご」を活用し、おせっかいの取り組みを促進

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					272,665円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	おせっかいチャレンジカードの実施	回	7	7	7	100%
②	町報紙でのPR	回	3	3	3	100%
③	告知端末でのPR	回	14	20	20	143%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象に、毎月1日の「おせっかいの日」に、自分にできる小さなおせっかいに取り組んでもらい、『おせっかいチャレンジカード』に記入してもらう。 ・町報紙や告知端末（毎月2回）、町の公式SNS等を用いて、おせっかいのまちづくりをPR 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>町報紙への掲載やグッズ等によるPRを行ってきたが、実践につながる事業展開ができていなかった。そこで、令和2年度から小中学生にターゲットを絞って事業の実施を試みている。概ね8～9割の実施率であるが、実施が難しい年代もあるため、実施内容を検討する必要がある。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：子どもを主なターゲットにすることで、広い世代に周知できた				

R4年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>全町民を巻き込んだおせっかいのまちづくり運動が出来るように、取り組みや体制を検討する必要がある。幅広い年代への周知のため、町報紙や告知端末だけでなく、SNSを活用したPRも検討する。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	障がい者作業所等通所費助成事業	所属	福祉課	SDG s	8
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりで行くまちづくり			
	視点	家族	事業番号	連番	IV-2

R3年度

Goal(目標)	障がい者作業所等へ継続して通所出来る環境を保つ
Plan(事業概要・計画)	障がい者作業所等へ通所するのにあたって自家用車、公共交通機関を利用するのに要する費用の一部を助成することで、経済的に継続して通所可能な環境を保つ事を支援する。 3の倍数月毎に、過去3ヶ月分の実績を基に申請を受け付け、年4回の支払を行う。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					676,300円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	令和3年1～9月分申請実績 25名	千円	543	685	512	94%
②	令和3年10～12月分申請見込 24名	千円	205	229	165	80%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関利用者 17名、自家用車利用者 8名に対して助成を実施。 ・内、今年度新規申請 2名。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	申請の不備や添付書類の不足等が頻発しており、申請書式の変更等により改善を計るべきか。 対象者への周知が不足しており、利用可能にも関わらず未申請の対象者が複数名いたため、今年度声かけ等で利用勧奨を行い利用に繋げるなど、周知に努めたところ、新規申請が見られた。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 制度の周知に務め、より通所しやすい環境づくりに務めている。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
令和3年度に町村会要望で県費での財政支援の実施を求めた。引き続き県の反応を注視しつつ、他市町村とも情報共有を行い適宜、実施方法の見直しを行うとともに、制度の周知に努める。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ちづみちエリアリノベーション事業	所属	企画課	SDG s	11	
事業（細目）名	地方創生推進事業	事業番号	2032			
総合計画	基本理念	IV 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	新	連番	IV-3

R3年度

Goal(目標)	ちえの森ちづ図書館から石谷家住宅までのちづみちに人が交流し、賑わうみちとなるよう取組を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度作成したちづみち戦略ガイドブックを浸透させていく。 ・ちづみちで人が集うような取組を行う。

R3年度

Do(実行)	R2実績額					7,988,518円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	賑わい創出イベント	回	0	1	1	-
②	空き家を活用した取組	回	0	1	1	-
③		回				
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ちえの森ちづ図書館開館及び石谷家住宅、動線上の施設で「ちづみち写真展」を開催 ・ふるさと振興財団の資料等を整理し、今後の財団と石谷家住宅の活用について検討 ・賑わい創出イベントとして「Be Local～ちづの日常」を開催 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてもイベントが実施できると確認。 ・ちづみち写真展は引き続き役場玄関で継続掲示中 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： コロナ禍で想定していた事業ができていない。戦略ガイドブックをベースに今後もしっかりと事業継続していくこと				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は令和3年度で一区切りだが、BeLocalが持続可能なイベントとなるよう引き続き伴走が必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	人と地域をつなぐまちのコイン導入事業	所属	企画課	SDG s	11.17	
事業（細目）名	地方創生推進事業	事業番号	2032			
総合計画	基本理念	Ⅳ 地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	新	連番	Ⅳ-4

R3年度

Goal(目標)	令和2年度に実証実験を行った結果を踏まえ、智頭町版へのカスタマイズを行い、本格導入を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・本格導入に向けたスポットへの声かけ ・説明会の実施 ・アドバイザーボードの設置 ・イベント開催

R3年度

Do(実行)			R3実績額			20,017,290円	
活動実績を示す指標			単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	スポット数		件	15	60	39	260%
②	ユーザー数		人	192	600	488	254%
③	イベント開催		回	1	1	2	200%
実施内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・本格導入（令和3年10月1日から） ・スポット向け説明会、ミートアップの実施 ・先進地視察（岡山県新庄村、福岡県八女市※オンライン） 			<ul style="list-style-type: none"> ・運営団体候補者の選定 ・イベント開催（Belocal、つながる市） 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・まちのコインを使える場所が少なく、アクティブユーザの低下に繋がっているためスポット数の増加、またイベント等の企画実施が必要である。 ・スポットの継続的なアフターフォローを行う必要がある。 						

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： 導入間もないため、今後に期待するがユーザーやスポットと密に連携し流通量や活動量を増やしていく必要がある。					

R3年度

Action(改善)						
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブユーザー率の低下を防ぐため、まちのコインを使える場所を増やす必要がある。 ・町内の各種イベントに対し、まちのコインを絡めることで町内に波及させていく。 ・運営団体の育成を行う。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	子どもの貧困対策推進事業	所属	福祉課	SDG s	1, 11
事業（細目）名	子どもの貧困対策推進事業	事業番号	2026		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり			
	視点	家族	事業番号	11	連番

R3年度

Goal(目標)	ひとり親・貧困家庭の支援及び本町の貧困家庭の具体的な数値を把握する。
Plan(事業概要・計画)	<子どもの居場所づくり推進事業> <子どもの学習支援事業> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂「えん」(旧諏訪保育園)開催 ・小学校1年～3年生(毎週火曜日) <子どもの貧困調査> ・中学3年生(毎週金曜日) ・保育園の保護者、小・中学生とその保護者等を対象にアンケート調査を実施

R3年度

Do(実行)	R3実績額					4,182,952
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	子どもの学習支援利用者数 (小学生)	人	141	130	156	111%
②	子どもの学習支援利用者数 (中学生)	人	103	100	66	64%
③	子ども食堂利用者数	食	1,133	1210	872	77%
実施内容	<子どもの居場所づくり推進事業> <子どもの学習支援事業> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂「えん」(旧諏訪保育園)開催 ・小学1年～3年生(毎週火曜日) <子どもの貧困調査> ・中学3年生(毎週金曜日) ・保育園の保護者、小・中学生とその保護者等を対象にアンケート調査を実施 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・子ども食堂利用者が固定化しており、定員の関係から新規利用者が利用しづらい状態。 ・新型コロナウイルス感染症予防のため、7～8月は開催を見合わせた時期があったが、9月はテイクアウトで実施するなど、感染防止対策を行い事業を継続することができた。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：重層的支援体制整備事業と絡め、機能を拡充する必要がある。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	・学習支援事業参加者が定員割れを起こしており、適切なアウトリーチができていなかったことが要因と考えられるため、関係機関と連携を強化し、声かけ・募集を行う。